

2007「日中文化・スポーツ交流年」ロゴマーク・キャッチフレーズの決定について

2007「日中文化・スポーツ交流年」実行委員会は、一般公募された作品の中から選考を行い、ロゴマーク・キャッチフレーズを以下のとおり決定しました。

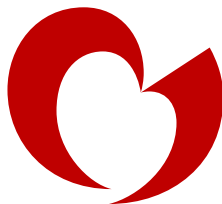


日本文



中国文

■ロゴマーク趣旨



「CJハート、日中交流の心のマーク」

China-Japanの頭文字「CとJ」をダイナミックに交流させ、新しいハート（心）を生み出しました。CとJは、長い交流を「種」とし、ぐんぐん天に向かってのび、成長回転します。ハートを大切に包み込み、守り、育てる様子を表現しました。日中交流の基本も心（ハート）です。文化の心、スポーツの躍動する心を通じて、日中の現在へ、次世代へ、未来へ、交流のハートを回し続ける動きを志しました。

作者：加賀谷 美幸さん(東京都台東区)

■キャッチフレーズ趣旨

(日本文) 期待を未来へつなげよう。

(中国文) 心的期待, 新的未来。

日中国交正常化35周年は両国関係発展の新たなスタートとなります。両国国民が共に両国関係の発展を心から期待し、このような気持ちが、両国の新たな未来につながっていく、そして、両国国民、ひいてはアジアや全世界に幸せをもたらすことをイメージしました。

作者：黄 新国さん(湖北省黄冈市)

■募集期間 2006年12月21日～2007年1月21日

■募集方法 外務省ホームページ、在中国日本国大使館、在中国総領事館(上海、瀋陽、重慶、広州)、出張駐在官事務所(大連)、都道府県国際課ホームページ、共同網(共同通信社中国語版)にて募集

■応募総数
ロゴマーク 253作品(内訳：日本人63人200作品、中国人25人53作品)
キャッチフレーズ 645作品(内訳：日本人72人349作品、中国人54人296作品)

■ロゴマーク・キャッチフレーズの使用について

このたび決定したロゴマーク・キャッチフレーズは、本年実施される2007「日中文化・スポーツ交流年」の一連の事業のシンボルとして使用されます。さらに来年以降の交流年事業終了後も日中の交流活動のシンボルとして、長期的に使用される予定です。

なお、2007「日中文化・スポーツ交流年」実行委員会では、「日中文化・スポーツ交流年」を多くの企業、団体の参加を得て、幅広い事業にしたいと考えています。については、「日中文化・スポーツ交流年」のコンセプトに合致し、相応しい事業には、当該事業の主権団体等の希望に応じて、2007「日中文化・スポーツ交流年」認定事業としてロゴマーク・キャッチフレーズをご活用いただけます。

詳しくは下記、外務省ホームページ『2007「日中文化・スポーツ交流年」事業の認定、ロゴマーク、キャッチフレーズ使用申請』をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/china/jccs2007/logo_s.html

■2007「日中文化・スポーツ交流年」とは

2007「日中文化・スポーツ交流年」は、2007年が日中国交正常化35周年にあたり、これを記念して日中両国国民、特に次世代の日中の青少年間の相互理解を深めることを目的に、年間を通じて一連の記念事業を実施するものです。さらに、2008年は、日中平和友好条約30周年記念、また、北京五輪が開催され、2010年には上海万博の開催が決定しており、日中間の交流を一層拡大、深化させる好機が到来しています。

【この件に関する問い合わせ先】

2007「日中文化・スポーツ交流年」実行委員会事務局
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-19-5 虎ノ門一丁目森ビル10階
担当 福島、猪谷（いがや）
TEL 03-3591-3111 FAX 03-3591-3301
E-mail exec@jccs2007.org